



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2023年6月号 (325号)



「AEL（あえる）ネット環境学習スタンプラリー」を実施します (P4)



出典：環境省 HP

アカミミガメ・アメリカザリガニが「条件付特定外来生物」に指定されました (P5)



「あいち森と緑づくり環境活動・環境学習推進事業交付金」の交付団体が決まりました (P7)



「あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業交付金」の交付団体が決まりました (P7)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」Web ページは  
こちらから→



今月号とバックナンバーを掲載しています。



# あいちエコアクション・ポイント

## 夏季取組強化キャンペーンを実施します



愛知県では、県民の皆さんの脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換を促すため、グリーン購入やプラスチック製カトラリー類の辞退などの環境配慮行動（エコアクション）に対して、ポイントを発行する「あいちエコアクション・ポイント」を2月15日から実施しています。

このポイントは、県民の皆さんが、県内約4,400の参加店舗等において対象のエコアクションを実践した場合に、店舗等に設置されているQRコードをスマートフォンで読み取ることで獲得できます。300ポイント集めていただくごとに、賞品が当たる抽選に1回応募できます。

この取組をより広く普及させるため、6月16日（金）から7月15日（土）までを夏季の取組強化キャンペーン期間とし、通常賞品のQUO（クオ）カードに加え、協賛事業者から提供いただいた賞品をご用意します。

是非エコアクションを実践し、ポイントを集めてご応募ください。

### 1 ポイント付与の対象となるエコアクションと獲得ポイント数

エコアクション	ポイント数
①グリーン購入（家電、衣類、食品、家庭用品、文房具）	省エネ家電 50P その他 10P
②プラスチック製カトラリー類の辞退	10P
③使用済みクリーニングハンガーの返却	10P
④飲食店での食べ残しゼロ	10P
⑤フードバンク等への寄付	10P

### 2 参加・応募方法

- ①Webサイトにアクセスし、アカウントを作成
- ②参加店舗等で、対象となるエコアクションを実践してポイントを獲得
- ③300ポイント集めたら、Webサイトのマイページから希望賞品を選択して応募

### 3 参加費

無料（ただし、通信費は自己負担）

### 4 キャンペーン期間限定の賞品

区分	賞品名 ( ) 内は協賛事業者	当選者数
商品券	・スギ薬局商品券 【3,000円分】 (株)スギ薬局	10名
	・花とみどりのギフト券 【3,000円分】 (一社)JFTD 花キューピット	10名
	・ルブラ王山ギフトクーポン 【2,000円分】 (ホテルルブラ王山)	5名
	・アイリス愛知「銀河」 生ビール1杯無料券 【1枚で5名まで可】 (アイリス愛知)	10名
	・サンヒルズ三河湾 宿泊割引券 【2,000円分】 (サンヒルズ三河湾)	10名
商品	・トップスーパーナノックスギフト (ライオン(株))	20名
	・うるおい入浴液 つるぽかエプソムソルト600ml【2本セット】 (回生堂(株))	20名
	・いちご大福、さくらさくらの赤飯まんじゅう【各5個セット】 (有)野田屋菓子舗	10名
ポイント	・がすてきポイント500P (東邦ガス(株))	20名
チケット	・ドラチケクーポン(メンバーズS席)ペア券 (株)中日ドラゴンズ	2名
	・楽の湯グループ共通 ペア入泉ご招待券 (楽の湯)	10名

詳細はWebページをご覧ください。  
(<https://www.eap.pref.aichi.jp>)



あいちエコアクション・ポイント

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

# あいちCO<sub>2</sub>削減マニフェスト2030の 宣言事業者を募集しています



「あいちCO<sub>2</sub>削減マニフェスト制度」とは、事業者自らが地球温暖化対策の取組とCO<sub>2</sub>排出量の削減目標を「マニフェスト」として宣言し、愛知県が認定・公表する制度です。この制度により、事業者は環境貢献活動を社会に広くPRすることができます。

## 1 対象事業者

県内の事業者（事業者の範囲は、工場等の事業所単位から企業全体まで自由に設定可能）

## 2 募集期間

9月末日まで

## 3 応募方法

### (1) 提出書類

- ・あいちCO<sub>2</sub>削減マニフェスト2030宣言書
- ・CO<sub>2</sub>削減マニフェスト（取組内容、CO<sub>2</sub>排出量）

### (2) 提出方法

あいち電子申請・届出システム又はEメール  
(ondanka@pref.aichi.lg.jp)



## 4 ランクアップについて

継続的な取組を評価するランクを設けており、実績報告におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減率に応じて、ランクがアップします。

## 5 メリット

- ・目標の宣言時とランクアップ時に認定証を交付し公表



昨年度の認定証授与式

- ・県がWebページ等で事業者名、取組内容等をPR

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/0000004639.html>)



あいちCO<sub>2</sub> マニフェスト

検索

地球温暖化対策課 計画推進グループ  
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)

# カーボンニュートラルの実現に向けた 事業・企画アイデアを募集しています



愛知県では、「あいち地球温暖化防止戦略2030（改訂版）」に基づき、県発の脱炭素プロジェクトを創出するため、全国の企業・団体から温室効果ガスの排出削減や吸収に資する事業・企画アイデアを募集しています。

## 1 募集するアイデア

カーボンニュートラルの実現に資する具体的なプロジェクト案

- (1) 応募対象 企業・団体
- (2) 応募期限 随時受付
- (3) 提出先 愛知県環境局地球温暖化対策課  
(名古屋市中区三の丸3-1-2)

## 2 アイデアの活用

提案されたアイデアのうち事業化すべきプロジェクトは、そのテーマに合わせた個別の研究会を立

ち上げ、事業化の支援を行っていきます。

これまでに、水循環をキーワードに官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指す「矢作川CNプロジェクト」を始め2件のプロジェクトを選定し、事業化に向けた取組を進めています。

今後も、優れたアイデアを事業化し、脱炭素のモデルとなるプロジェクトの創出を図っていきます。

積極的なアイデア提案をお待ちしています。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/carbonneutralidea.html>)



カーボンニュートラル アイデア 愛知

検索

地球温暖化対策課 活動支援グループ  
電話 052-954-6887 (ダイヤルイン)

愛知県では、県民の皆さんに楽しく環境の大切さについて学んでいただくため、県内の環境学習施設や市町村で構成する愛知県環境学習施設等連絡協議会(略称: AEL ネット)に加盟する施設等と連携して、「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を実施します。スタンプラリー参加施設への来館、講座・イベントへの参加により、スタンプを3個以上集めてご応募いただくと、抽選で図書カードなどの記念品をプレゼントします。「紙版スタンプ帳」のほか、スマートフォン等を使用してQRコードを読み取り、スタンプを集める「電子スタンプ帳」もあります。

この機会に、是非多くの施設にご来場いただき、自然、エネルギー、ごみ、水環境などの様々な分野について楽しく学んでください。

## 1 開催期間

6月21日(水)から  
2024年2月23日(金・祝)まで

## 2 場所

AEL ネットに加盟する173施設等  
※一部の施設、講座・イベントは、有料又は事前予約が必要です。  
※施設数は、増減する可能性があります。最新の状況はAEL ネット環境学習スタンプラリーのWebページでご確認ください。

## 3 記念品

### ・図書カード

A賞(スタンプ9個):5,000円分…抽選で5名  
B賞(スタンプ6個):3,000円分…抽選で20名  
C賞(スタンプ3個):1,000円分…抽選で100名

・Wチャンス賞:A賞~C賞の抽選に外れた方の中から、抽選で400名にスタンプラリー参加施設のオリジナルグッズセットをプレゼント

・電子クイズ参加賞:電子スタンプ帳でスタンプを獲得した際に表示されるクイズに3問以上挑戦して応募した方の中から、抽選で50名に木製オリジナルキーホルダーキットをプレゼント

## 4 応募方法

### ・電子スタンプ帳

①AEL ネット環境学習スタンプラリーのWebページにアクセスしてアカウントを登録し、ログインする。

②施設等にある二次元コードをスマートフォン等で読み取り、スタンプを集める。

③Web ページの応募フォームから応募する。

### ・紙版スタンプ帳

①スタンプラリー参加施設等で入手できるスタンプ帳・応募用紙に付いている応募ハガキにスタンプを集める。

②応募ハガキに切手を貼り郵送する。

※電子と紙版のスタンプの合算はできません。それぞれで集めてご応募ください。

## 5 応募期限

2024年3月1日(金)まで  
※紙版スタンプ帳の場合は、当日消印有効

## 6 当選発表

厳正なる抽選の上、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://ael-stamp.jp>)



スタンプラリー対象講座の様子

AEL ネット環境学習スタンプラリー

検索

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208(ダイヤルイン)

## アカミミガメ・アメリカザリガニが 「条件付特定外来生物」に指定されました



人間によって海外から持ち込まれた生物のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすもの及びそのおそれのあるものは、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（外来生物法）に基づく「特定外来生物」に指定され、輸入、飼養、譲渡し等が規制されています。この度、2023年6月1日付けでアカミミガメ及びアメリカザリガニが条件付特定外来生物に指定されました。

### 1 条件付特定外来生物とは

アカミミガメとアメリカザリガニは、以前から生態系に与える悪影響の大きさが認識されていましたが、特定外来生物に指定され飼育が禁止されると、飼育中の個体が一斉に池や川に放されるおそれがあることから、これまで指定が見送られてきました。そこで、国は昨年5月に外来生物法を改正し、政令で種を指定することで特定外来生物に係る規制の

一部を適用除外とすることを可能としました。このような種を「条件付特定外来生物」と呼んでいます。

### 2 規制の内容

アカミミガメやアメリカザリガニに対する主な規制内容は以下の通りです。

原則禁止	規制対象外
<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入、販売、購入</li> <li>・頒布（広く配ること）</li> <li>・野外への放出</li> <li>・販売や頒布を目的とした飼育、運搬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売や頒布を目的としない飼育、運搬</li> <li>・頒布を目的としない無償譲渡</li> <li>・キャッチ・アンド・リリース</li> </ul>

現在、アカミミガメやアメリカザリガニを飼育している方は、寿命を迎えるまで責任をもって飼育するようお願いいたします。

アカミミガメ アメリカザリガニ

検索

自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
電話 052-954-6230（ダイヤルイン）

## 愛知県推薦の方が令和5年度「みどりの日」 自然環境功労者環境大臣表彰を受賞しました



環境省では、自然環境の保全に関する顕著な功績に対して、これをたたえるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的として、毎年「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を実施しています。

この度、令和5年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰の保全活動部門において、愛知県が推薦した林進さんが表彰されました。

林さんは、1989年から、犬山市でのヒトツバタゴ自生地の保全活動をはじめ、県内を中心に国天然記念物の樹木の保全に従事しています。

また、国花とされる桜の保全にも長年尽力し、専門的な知見と豊富な実績のもと、地元住民や関係機関と連携や協力の上、継続的な活動を続けています。

さらに、犬山里山学センター（犬山市の環境保全活動や環境学習の拠点）では、2006年の開館当初から

管理運営に携わり、里山文化の研究、活用及び保存とともに、自然環境を保全する人材の育成を行っています。

林さんの長年にわたる環境保全活動への尽力により、希少な樹木の育成状態が改善され、地元住民が、「地域の身近な自然が貴重なものであること」を再認識する契機となっています。



犬山市のヒトツバタゴ自生地（犬山市提供）

自然環境課 調整・施設・自然公園グループ  
電話 052-954-6227（ダイヤルイン）

# 国道23号通行ルール（名古屋南部地域）にご協力をお願いします



## 【国道23号通行ルール（名古屋南部地域）】

名古屋南部地域の空気環境は、近年徐々に改善が進んでいますが、この地域を貫く国道23号では、交通量が1日に10万台を超える箇所や大型車混入率が5割近い箇所もあり、他の道路沿道に比べ、大気汚染物質の濃度が高くなっています。

そこで、国土交通省では、名古屋南部大気汚染公害訴訟の和解条項の一つである車線削減の代替策として、従来からの法規制に加え、**大型車は中央寄り車線を走行**することで沿道の騒音や大気汚染を低減させる「**国道23号通行ルール（名古屋南部地域）**」を策定

し、関係機関（環境省、愛知県、名古屋市、愛知県警及び（一社）愛知県トラック協会）とともに周知や呼びかけを行っています。

＜対象車種＞ 大型車 [下の「大型車の例」参照]

＜実施区間＞ 緑区大高町（名古屋南インター交差点）～海部郡飛島村（梅之郷交差点）までの国道23号 約16kmの区間 [下の「実施区間」参照]

＜お願い＞ 実施区間では、**大型車は外側車線（環境レーン）を避け、中央寄り車線の走行**、**小型車は大型車が中央寄り車線を走行しやすいよう、外側車線（環境レーン）の走行**にご協力をお願いします。



「国道23号通行ルール（名古屋南部地域）」の実施区間

大型車は環境レーンを避けて走行

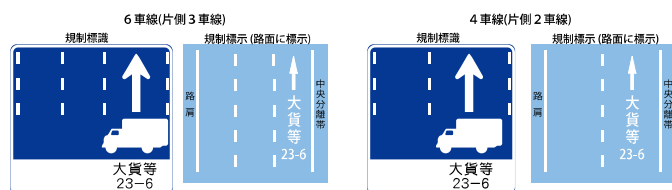
## 【法の規制を守りましょう】

・道路交通法により、上記の実施区間のうち緑区折戸～港区十一屋間では、大型車は夜間(23時～翌朝6時)、最も中央寄りの車線を通行しなくてはなりません。

・黒煙を多量に発散する整備不良車、不正燃料使用車、過積載車両、許可なし特殊車両は公道を通行できません。

## 【その他 沿道環境に配慮した走行のお願い】

- ・「ふんわりアクセルでゆっくり発進」など、**エコドライブの実施**（排出ガスを抑え、燃料も節約できます。）
- ・**自動車NOx・PM法車種規制非適合車を使用しない**（「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、使用しないようお願いいたします。）



（規制標識・規制表示）

地球温暖化対策課 自動車環境グループ  
電話 052-954-6217（ダイヤルイン）  
建設局 道路建設課 企画・環境対策グループ  
電話 052-954-6541（ダイヤルイン）

## 「あいち森と緑づくり環境活動・環境学習推進事業 交付金」の交付団体が決まりました



愛知県では、県民共有の財産である森や緑を次世代に引き継いでいくため、「あいち森と緑づくり税」を活用して、NPO・ボランティア団体や市町村など多様な主体が行う森と緑の保全活動や環境学習を支援しています。

この度、2023年度の交付対象者として101団体(104事業)が決まりました。

この交付金を活用して、里山保全活動、自然観察会、緑のカーテンづくりやビオトープ整備などの事業が県内の各地で実施されます。

この交付金事業を開始した2009年度から2022年度までの14年間で延べ1,338事業が実施されており、これまでも多くの県民の皆さんが、県内全域で様々な森と緑づくりの活動に参加されています。

あいち森と緑づくり

検索

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r5morikoufu.html>)



里山で草刈り活動をする様子

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
電話 052-954-6240(ダイヤルイン)

## 「あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業 交付金」の交付団体が決まりました



愛知県では、生き物の生息生育空間をつなぐ「生態系ネットワーク\*」の形成を促進するため、「あいち森と緑づくり税」を活用して、県民、事業者、NPO、行政等の地域の様々な立場の人々が協働して行うビオトープ創出事業、維持・向上事業等を支援しています(あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業交付金)。

この度、2023年度の交付対象者3団体が決まりました。

この交付金を活用して、生態系ネットワーク形成を推進するための生き物の生息空間の造成、生物調査やスギ・ヒノキの皆伐跡地における広葉樹植栽などの事業が県内3地域(知多半島、西三河、新城設楽)で実施されます。

\* 生態系ネットワーク 開発などで分断・孤立した、生き物の生息生育空間を緑地や水辺などでつないで、地域本来の自然環境を保全・再生するもの。

### ○交付団体

団体名	事業の内容
知多半島生態系ネットワーク協議会	生き物の生息空間となる「いきもの共生施設」の造成や、臨海企業緑地帯等におけるモニタリング調査の実施など
西三河生態系ネットワーク協議会	苗木循環育成モデル化事業の実施や植樹用地整備、生態系ネットワーク形成推進のための生物調査など
新城設楽生態系ネットワーク協議会	奥三河地域における人工林の皆伐地への広葉樹の植樹や植生地の下草刈り、植生調査の実施など

自然環境課 国際連携・生態系グループ  
電話 052-954-6229(ダイヤルイン)

## ○ 高水温に強いアマゴの選抜が可能に

アマゴは「雨子」「雨魚」等と漢字で書き、雨が深い梅雨や初夏によく釣れる魚です。アマゴを含むマス類の養殖は、愛知県の奥三河地域で盛んに行われています。マス類養殖場の飼育水は気温や降雨等の環境の変化に左右されやすく、また地球温暖化の影響で以前より高水温にさらされる状況にあります。

こうした状況に適応していくため、愛知県水産試験場では、高水温に強い個体を選抜する技術の開発に取り組んでいます。その一例として、アマゴの発眼卵（肉眼で卵の膜から魚の目が見える卵）を高水温にさらして、生き残った発眼卵を稚魚にまで飼育するという試験を行っています。こうして飼育した稚魚について、高水温に対する強さを試験した結果、通常のアマゴよりも高水温に強いことが確認でき、この技術を活用して高水温に強い個体を選別することがわかりました。

愛知県気候変動適応計画では、地球温暖化等に対応する農林・水産技術の開発の取り組み指標として2025年度までに、15技術の開発を目指しています。今後もこのような技術の開発が期待されます。



アマゴ

アマゴの発眼卵

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/444964.pdf>

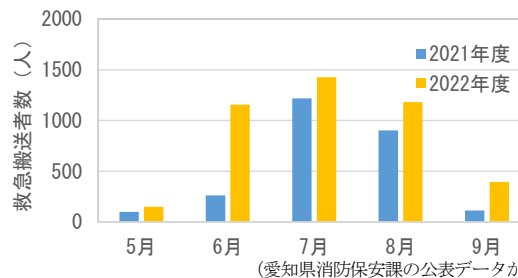
水試ニュース 558号

検索



## ○ 熱中症に注意しましょう

愛知県における熱中症（疑いを含む）による救急搬送者数は、例年7月、8月に増加しますが、昨年度は、6月から大きく増加しています。



6月でも気温や湿度が高くなる日もありますので、熱中症予防に関する情報「熱中症警戒アラート」を活用し、外出を控える、適切にエアコンを使用するなど、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

<https://www.wbgt.env.go.jp/>

熱中症警戒アラート

検索



環境調査センター 企画情報部

気候変動適応センター

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

## 愛知県環境情報紙「環境かわら版」

2023年6月5日発行(第325号)

編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6

電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

## 編集後記

先日、地域の清掃活動に参加し、道端のごみ拾いと側溝の掃除を行いました。道端や側溝にごみが溜まると、悪臭や害虫発生の原因になります。また、大雨や台風のときに、雨水が流れなくなり、道路が冠水するおそれがあります。地域の環境と安全を守るため、皆さんも清掃活動に参加してみたいはいかがでしょうか。(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

